

防災行政無線システムへの 入カインターフェースの規格化の背景等

背景

防災行政無線等の戸別受信機の普及促進に関する研究会報告

(H29.6 総務省総合通信基盤局、消防庁)

<自治体ヒアリングの結果（報告p6）>

災害時、防災行政無線をはじめとした複数の情報伝達手段への入力作業が負担。

<戸別受信機の普及促進方策（報告p26）>

自治体職員の入力作業の負担軽減を図るため、防災行政無線への入力インターフェースを規格化し、防災行政無線を含む複数の情報伝達手段が連動する環境を整備する必要がある。今後、国、自治体、関係事業者が連携し、当該インターフェースの規格化を図ることが望ましい。

避難勧告等に関するガイドライン（H29.1 内閣府）

利用可能な情報伝達手段を最大限活用できるよう、平時から各伝達手段の点検や災害を想定した操作訓練等を行うべきである。また、災害時は職員の対応能力を大幅に上回る業務が発生するため、システム改良等による入力担当職員の負担軽減や、防災担当職員以外の部局の職員が避難勧告等の情報伝達を担う等、全庁をあげた役割分担の体制を構築しておくとともに、訓練等を通じた操作担当者の機器操作の習熟を推進すべきである。

糸魚川市大規模火災を踏まえた今後の消防のあり方に関する検討会報告書

(H29.5 消防庁)

多くの消防本部において、住民への情報伝達のために防災行政無線を操作する体制が確保されているところであり、強風等による延焼のおそれがある場合等には、住民が的確に行動できるよう、防災行政無線等（戸別受信機を含む。）により、火災覚知後速やかに周辺住民に対する警戒呼びかけなどの情報提供を行うことが必要である。

市町村の実例①

午前2:00災害対策本部で午前2:30に「避難勧告」を出すことを決定！！

30分間の勝負！！
正に戦場



広報資料3

⑫マスコミ発表

平成28年9月8日
福知山市災害警戒本部（危機管理室）
電話0773-24-7503
市長公室秘書課
電話0773-24-7000

午前8時40分 発信

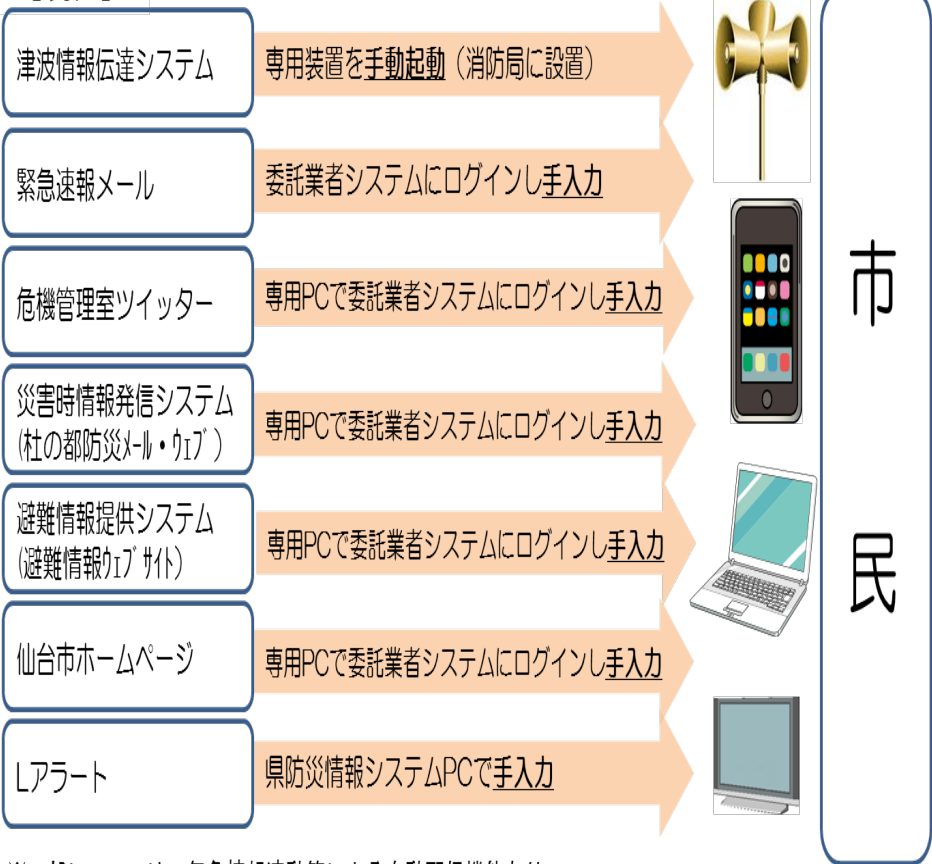
避難勧告の発表について（福知山市夜久野地域）

平成28年9月8日午後8時20分、福知山市夜久野地域に土砂災害警戒情報が発表されたため、平成28年9月8日午前8時40分、同地域に避難勧告を発令しました。

様式			
住民避難に関する指示等の連絡			第1号
自治体名	発表日時	避難者の所属・氏名	報道機関への送付日時
福知山市	平成28年9月8日 区画 午後 8時40分	総務部危機管理室 寺田 武史	平成28年9月8日 区画 午後 8時40分
避難用電話番号	0773-24-7503	緊急用電話番号	
自治体名以外の地名には全て「ふりがな」をつけること。 神内におさまらない場合は神を下へ拡大してください。 このために2ページ3ページにわたることになって かまいません。			
分類（該当するものに○印）	避難勧告の発令		
区画 地域拡大 電線変更 断線	発表の内容		
	事由 夜久野町における土砂災害警戒情報の発表のため		
	対象地域（対象世帯数・人数）	避難の困難できている世帯数・人数	
	夜久野地域 1,576世帯 3,613人		

市町村の実例②

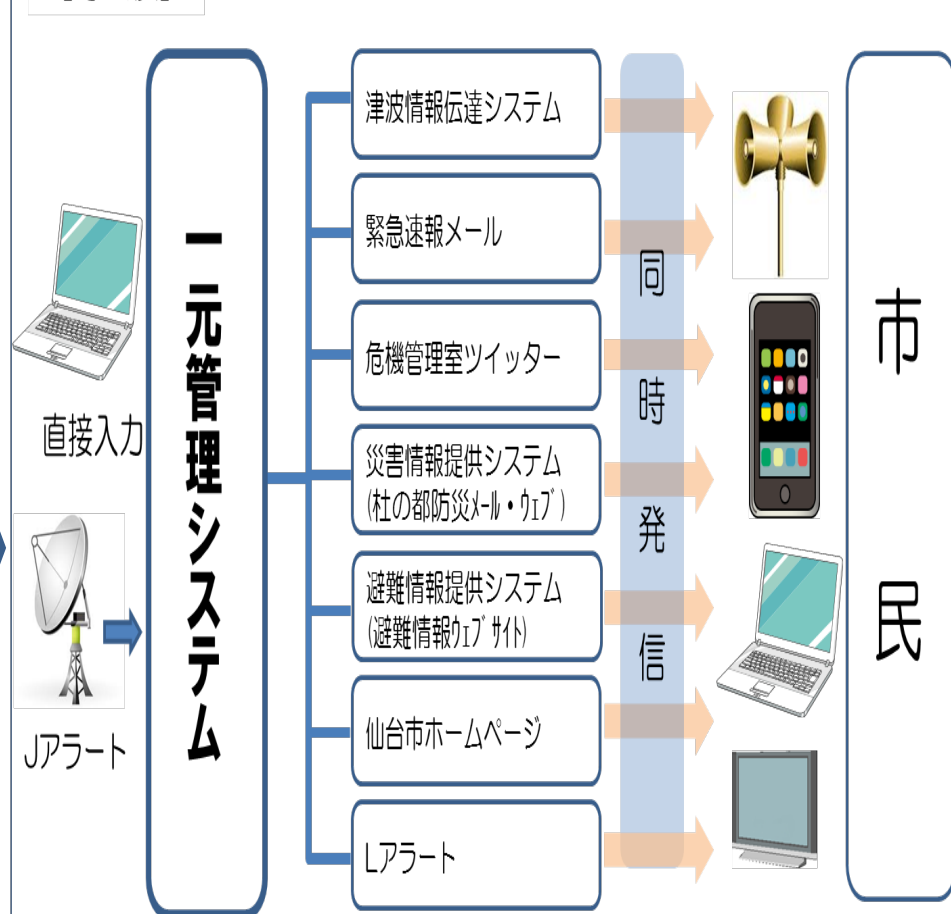
各種情報発信ツールの管理を一元化し、迅速かつ確実な情報伝達を図る
【現在】



※一部については、気象情報連動等による自動配信機能あり

⇒伝達手段は多重化・多様化されたが、個別に操作するため人手と時間を要し、操作ミスリスクも

【導入後】



⇒1度の入力で全てのツールから迅速かつ的確に発信
Jアラートの情報を起点とした自動配信の拡充

検討内容及び進め方

防災行政無線を含む複数の情報伝達手段が連動する環境の整備を目指し、防災行政無線への入力インターフェースの規格化を図る。具体的な検討内容及び進め方は次のとおり。

1 規格化の対象部分についての検討

全国的に統一した方が良い部分を検討し、規格化の対象部分を明確化する。規格化の対象として考えられるものは以下のとおり。

- ・ 接続回線方式（LAN、IP-VPN、インターネット等）
- ・ 通信方式（FTP、SOAP、ソケット等）
- ・ 音声データ方式（WAV、MP3等）
- ・ 電文のフォーマット（XML、HTML、CSV等）
- ・ 接点信号の受け渡しルール（入力有効判定時間・ループ抵抗等）

等

2 防災行政無線の入力インターフェースに係る実態調査

現在、実際に使用されている防災行政無線の接続回線方式、通信方式、音声データ方式等の実態を調査する。

3 実態調査の結果等を踏まえた規格案のイメージの作成